

競 技 注 意 事 項

1. 本大会は2019年度日本陸上競技連盟規則に準ずる。ただし、第162条5 (a) (b) (c) を行った時、1回目は注意に留めるが、2回目はイエローカードを示し、警告を与える。累積2枚のイエローカードを受けた競技者は当該競技を失格とするが、それ以後の種目の出場を妨げない。
2. 本大会は2019年度日本選手権リレー (U-18男女混合4×400mR) の選手選考をかねる。(高1早生まれを除く)
3. 予選、準決、決勝の組合せレーン順、及びフィールド競技の試技順は、主催者において公平に抽選し、プログラムおよび招集所で発表する。男子5000m、女子3000mに関しては安全に配慮して番組編成を行う。
4. フィールド競技の競技順序はプログラムの試技順序に従う。
5. 競技者招集所は、100mスタート付近とする。
6. 競技者の招集はつきによる。(予選、準決、決勝とも代理人によるコールは認めない。但し種目をかねて出場するもので同時に2種目行われるものはその旨、競技者係及び審判員に申し出て競技の進行に支障のないようにする。) 「競技会参加の心得」参照
 招集開始時間 トラック、フィールド競技……………30分前 (フィールド予選のみ40分前)
 招集完了時間 トラック、フィールド競技……………20分前 (フィールド予選のみ30分前)
 ただし① 走幅跳、三段跳の招集は招集所で40分前に開始、30分前に完了。
 ② 棒高跳の招集は現地で競技開始60分前に開始、50分前に完了。
 ③ ハンマー投の招集は、招集所で競技開始60分前に開始、50分前に完了。
 ④ 女子円盤投決勝は招集所で競技開始50分前に開始、40分前に完了
7. オーダー用紙の提出
 リレーのオーダー用紙は、各ラウンドの第1組の招集完了時刻の1時間前までに招集所の競技者係主任に提出すること。オーダー用紙はプログラムに添付されているものを使用すること。また、決勝に進出したチームは本部で用意したものを使用すること。
8. ナンバーカードは胸、背部の両面につけること。(但し跳躍種目の競技者はどちらか一方のみでよい。)
9. 競技用具は競技場備え付けのものを使用する。棒高跳用のポールについては個人で用意する。但し、持参した用具(投てき用具等)の使用を希望する者は検査を受け使用許可を受けなければならない。また許可された用具は他の競技者にも使用させねばならず、万一破損などがあっても主催者はその責任を負わない。
10. フィールド競技の予選通過記録は下記の通りとする。
 なお、跳躍競技の1組はAピット、2組はBピットで競技を行う。

男子	走高跳 1m80	砲丸投 12m00	やり投 47m00	円盤投 32m00
女子	走高跳 1m53	砲丸投 9m50	やり投 32m00	

11. 予選通過記録をパスした者が12名に満たない場合、上位より12人までの者によって決勝を行う。12番目に同記録が生じた場合は競技規則第180条22、第181条8によって決勝進出者を決定する。男女ハンマー投、女子円盤投、男女棒高跳、男女走幅跳、男女三段跳は予選を行わない。
12. 走高跳・棒高跳のバーの高さおよびバーの上げ方。

種 目	練 習	バーのあげ方
男子走高跳予選	1m65	1m70・1m75・1m80
〃 決勝	1m70	1m75・1m80・1m85・1m88 以後3cm
〃 棒高跳決勝	2m20・2m60・3m20・4m00・4m30	2m40～4m00 20cmきざみ 4m00～4m60 10cmきざみ 以後5cm
女子走高跳予選	1m35	1m40・1m45・1m50・1m53
〃 決勝	1m40	1m45・1m50・1m53・1m56 以後3cm
〃 棒高跳決勝	1m80・2m40・2m80	2m00・2m20・2m40・2m60 以後10cm

以後の高さについては優勝者が決定し最後の一人になるまで、走高跳については、3cmきざみ、棒高跳については男子5cm、女子10cmきざみとする。順位決定のためのバーの上げ、下げは走高跳2cm、棒高跳5cmきざみとする。

なお、練習の高さおよび最初の高さについては、天候の条件や出場選手の状況により、跳躍審判長の判断により変更する場合もある。

13. 三段跳の踏切り板は、砂場より女子は9m、男子は12mの地点に設置する。

14. ハンマー投決勝、女子円盤投決勝について

競技進行の関係により9月21日の男女ハンマー投、23日の女子円盤投は予選を行わず、決勝のみでの実施とする。

15. 競歩競技の競技打ち切り時間について

競技スタート後、男子35分、女子は40分を越えて新しい周回には入れないものとする。

16. ウォーミングアップは原則として競技場内バックストレートを使用すること。

また、バックストレートを逆走しないこと。競技開始前のウォーミングアップでは1・2レーンでジョグは行わないこと。また、フィールド内の芝生には立ち入らないこと。

その他はアナウンスをよく聞き、練習場係・マーシャルの指示に従うこと。特にフィールド種目の進行の妨げにならないよう注意すること。

17. トラック種目については写真判定装置を使用する。800mまでの種目および4×400m Rにおける準決勝、決勝進出のプラスの競技者の選出について、最終枠に同タイムが出た場合は写真を拡大し精査する。その際0.001秒以上差があれば着差ありと認める。着差が認められない場合は800mを除いて抽選を行う。1500m以上の種目で最終枠に同タイムが出た場合は次のラウンドに進出できるものとする。

18. 入賞及び得点

① 入賞者は8位までとする。

② 得点 1位-8点 …… 8位-1点

③ 男女各1名ずつ優秀選手を表彰する。

各種目決勝終了後、8位入賞者は表彰係に集合のこと。

なお、ハンマー競技の表彰は9月23日（月）駒沢にて13時30分頃を予定しています。

19. 強化委員会研究部活動の一環として、いくつかの種目で映像、レーザーによる速度測定を行います。データのフィードバックについては高体連HPに掲載予定です。

20. 本大会で、トラック種目3位またはフィールド種目3位までに入賞したものは、令和元年度関東高等学校選抜新人陸上競技選手権大会（10/19(土)・10/20(日)千葉）の出場候補者となる。欠員が生じたときは繰上げて出場できる場合がある。詳細は強化委員長・黒木先生まで。

申込受付 9/26(木) 17:45～ 東工大附属高校

21. ゴミ処理及び、清掃分担について。

ゴミは、各自で必ず家に持ち帰ること。なお、競技終了後、各支部は、指定された区域の清掃を行うこと。

9/21（土） 第二・第三支部

9/22（日） 第五・第六支部

9/23（祝日・月） 第一・第四支部

22. 忘れ物、落し物等についての問い合わせ先

都立大泉桜高等学校 TEL 03-3978-1180 吉岡 秀樹 先生

23. 持ち物は各自で管理し、盗難・置き引きなどには十分注意すること。

24. ロッカーに荷物を置いたままにして帰ってはいけない。

25. 大会第二日目（9月22日）駒沢陸上競技場内会議室にて、東京都高等学校駅伝競走大会の申込があります。必要書類を整えて支部ごとに指定された時間に申込を行うこと。詳細は本大会プログラム（P16）および大会要項を参照のこと。

26. その他不明の点は大会総務まで照会されたい。

競技場のウォーミングアップについて（駒沢競技場：P5参照）

ウォーミングアップエリアには、競技者のみの立ち入りが原則である。

1. ウォーミングアップエリアは第2コーナーから第3コーナーまでとする。

2. ウォーミングアップについては、審判、役員の指示に従うこと。

3. ウォーミングアップエリアでの応援は絶対にしないこと。応援はスタンドで行うこと。

4. ウォーミングアップエリアへは、トラックを通らずスタンド下を通って行くこと。

また、その際スタートやフィニッシュ地点では競技の妨げにならぬよう気をつけること。